

週次トークン価格 高騰TOP銘柄

トップ銘柄 分析ガイド 11/9

レポート解説

この情報は、主要銘柄の売買に役立つ情報源です。短期的な価格上昇の原因を分析し、長期投資に活用します。

気になる銘柄は、、、

プロジェクトの欄には、各銘柄のXアカウントのリンクを付けてますので、フォローしてみてください。

本分析ガイドは、Coinmarketcap (CMC) サイトにて、7日間を通してトークン価格が最も高騰したTOP銘柄を調査し情報を提供するものです。話題になっている銘柄を週次でまとめて分析することで、市場で何が起こったのかどの銘柄が注目されているのかを把握することができます。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリ	時価総額	トークン価格	市場規模ベンチマーク比較	24時間取引량ランク	上昇率7days
#12	 Chainlink	Platform	¥1,248,649,526,827	¥2,242.61	2.95倍 (ETH比)	#8	30.98%
#47	 MultiversX	Layer1	¥167,187,437,347	¥6,385.56	197倍 (ETH比)	#19	30.74%
#30	 Cronos	CEX	¥311,066,436,288	¥12.31	106倍 (ETH比)	#188	29.20%

市場規模ベンチマーク比較とは

この情報は、同分野の時価総額上位銘柄との市場規模の比較

TOP銘柄チャート

上記画像は、Coinmarketcap (CMC) で記載されている7日間の価格推移を表示したチャートとなります。基軸通貨であるBTCも高パフォーマンスを出している3銘柄となります。また、下記チャートデータから、執筆時の取引量 (/24h) を比較するとLINKは10位と継続して積極的な取引がなされているが、EGLD(114位)、CRO(240位)と取引の活性化が継続していないように想定できます。





トピック解説 参照元: Coinmarketcap
 各銘柄の価格高騰の要因を、SNSや業界メディアへ投稿された記事を元に、分析・要約した情報となります。
 理由が明確な通貨の上昇は信頼できますが、理由なしの上昇はリスクが伴います。ニュースの内容を分析し、一時的な上昇か長期的なトレンドかを見極めることが重要です。

銘柄の価格高騰要因(考察)

Chainlink

注目ポイント: 機関投資家からの需要による価格高騰

GrayscaleのChainlink Trust (GLINK) は、**機関投資家からの強い関心を受け、GLINK223%の価格上昇**を達成しました。GLINKは、Chainlink (LINK) への投資を提供する製品で、直近1ヶ月で120%増加しました。一方、LINK自体も市場平均を大きく上回り、過去1ヶ月で105%以上の価格上昇を記録。暗号市場全体の成長率を大きく上回るパフォーマンスを見せています。

MultiversX(旧Elrond)

注目ポイント: プロジェクトのアップデート

メインチェーンの中核を担う機能である「Sovereign Shards MIP」がMultiversXのコミュニティフォーラム「Agora」にて公開されました。また、ユーザーと開発者の両方に提供する**「xAI」というAIアシスタントを公開**等のアップデートによる影響や、EGLDのステーキングが業界大手の「Crypto.comアプリ」にて利用可能になったことも含め、価格高騰に繋がったとされています。

Cronos(旧 Crypto.org)

注目ポイント: 不明

Cronosは、Crypto.com社 (旧Monaco) によって開発され、2021年11月に公式に立ち上げられたブロックチェーンです。現在、プロジェクト名をCrypto.orgからCronosにリブランディング中で、2024年3月までの3フェーズに渡り進行中です。**今回の価格高騰は、Crypto.comの知名度の高さが現在市場全体で注目を集めている可能性がありますが、主だったニュース等が見当たらないため、中期的に価格高騰を維持できるかどうかは、現時点では不確定な要素が多いため判断が難しいです。**